

ツキノワグマ出没特別注意報（秋期）

県では、ツキノワグマのエサとなる堅果類が凶作となり、秋から冬にかけてエサを求めて人里への出没が懸念されることから、9月1日に「ツキノワグマ出没特別注意報（秋季）」を発令したところですが、11月に入っても人身被害が発生したこと、また、目撃情報も増加傾向となっていることから、発令期間を以下のとおり延長します。

県民の皆様には、ツキノワグマに出会わないようより一層注意をお願いします。

- ◆ 期間 令和5年9月1日～令和5年12月31日まで
(当初発令期間 令和5年9月1日～令和5年11月30日まで)
- ◆ 区域 県内全域（会津地域を除く）



秋から冬にかけては、ツキノワグマが冬眠に向けてエサを大量に食べる時期となり、行動範囲が拡大します。人里には果樹や作物などエサが豊富にあるため、エサを求めて出没することが予想されます。また、この時期は冬眠するために奥山に移動するツキノワグマと山林内で遭遇する危険性が高まります。こうしたツキノワグマとの遭遇を避け、被害を未然に防ぐために次のような心構えが重要です。



1 遭遇しないための心構え

クマは臆病な性格のため、積極的に人間を襲うことはほとんどありませんが、不意の遭遇でパニックになり襲いかかってくる場合があります。こうしたツキノワグマとの遭遇を避けるために、以下の点についてご注意ください。

① クマがいるのかどうか調べる。（痕跡を調べる）

◇ クマの糞



人間と同じかちょっと大きめで形も人間と同じ。食べ物によって変化。

◇ 足跡：幅は成獣で7～13cm。



② クマの行動を知り、遇わないようにする。

- ◇ 出かける前にツキノワグマの目撃情報等があるかあらかじめ確認しましょう。
- ◇ 山に入る際には、複数人で行動する、クマ鈴やラジオなどの音の鳴るものを身につけるなど、ツキノワグマに人間の存在が分かるようにしましょう。やむを得ず単独で行動する際には音のするものを身につけて、常に周辺を注意しましょう。
- ◇ ツキノワグマは早朝と夕方に活発に活動します。朝夕の入山、山の近くでの散歩は避けるようにしましょう。
- ◇ 子グマの近くには、親グマがいる可能性が高いです。子グマを守ろうと親グマが攻撃してくることがあり危険なため、子グマを見つけた場合はその場から静かに立ち去ってください。

2 人里を餌場と認識させないための心構え

ツキノワグマはエサがある場所と認識すると同じ場所に繰り返し出没します。ツキノワグマを引き寄せないために、次の点に注意しましょう。

- ① クマの餌となる生ゴミや作物の残渣を放置しない。
- ② 収穫しない果樹（カキ、クリなど）などを放置しない。
- ③ ペットフードや家畜の餌もクマを引き寄せるため、フードストッカーや納屋などに保管する。



3 出遭ったときに襲われないために

- ① 遠くにいるのを発見した場合は、あわてずそっと立ち去る。
- ② クマから目を離さないようにして、できるだけゆっくりと後ずさりしながらクマから離れる。クマとの間に立木等の障害物を入れることができる位置に移動することで突進を防ぐこともできる。
- ③ 背中を見せて逃げるとクマは本能的に襲ってくるので、走って逃げない。

問い合わせ先

福島県自然保護課

電話：024（521）7210

各地方振興局でクマ鈴を貸出します。